



○仲間と共にやり切った運動会

10月に入り、昼間はまだまだ暑いものの、朝夕が少しひんやりとした空気に包まれる日が増えてきました。そんな中、晴天に恵まれ、9月30日（土）に運動会が開催されました。今年度も、昨年と同様、全校が集まって、学年部（低学年・中学年・高学年）ごとに行いました。『仲間とはげまし合い、最後までやり抜く最高の運動会にしよう』をスローガン

に掲げ、夏休みが明けてから、各種目・司会進行・エール交換の練習など一生懸命に取り組んできました。特に学年部ごとに、始めの会や終わりの会を行い、自分たちの学年部で赤団・白団のどちらが優勝かを決めたこともあり、どの学年部も自分たちで作り上げる運動会になったのではないかと感じています。低学年は赤団、中学年部は赤団、高学年部は白団が優勝し、総合優勝は赤団という結果でした。しかし、その結果以上に子ども達の素晴らしい姿がありました。

- ・個人競技でスタートはうまくいかなかったけれど、あきらめず最後まで必死にやり抜く姿
- ・団体競技で流れや繋ぎがうまくいくように、互いに声を掛け何度も練習し合ったりする姿
- ・同じ学年の仲間を応援する姿、競技を参観している違う学年からの赤団や白団を応援する姿
- ・始めや終わりの会で、応援リーダーや学年のリーダーを中心として、自分たちのねらいの再確認や仲間のやり切った姿を互いに認め合う姿・互いをたたえ合う熱のこもった語りの姿

などなど、随所に子ども達が心をひとつにし仲間と共にやり切る姿をご覧いただけたのではないかと思います。観ている私たちも感動しました。子ども達にとって、思い出に残る素晴らしい運動会になりました。最後にたくさんの保護者・地域の方々の応援・準備・後片付けのご協力、本当にありがとうございました。



○第5term 重点「見つめ直す」 ～家庭学習について～

後期が10月12日にスタートします。各学級で前期の反省をし、成果と課題を明確にしたうえで、今年度の後期の充実を図っていきます。自分たちの姿を見つめ直し再スタートを切る絶好のチャンスにしたいと考えています。

子ども達の家庭での学習などについても、一度見つめ直す機会にしてほしいと考えています。全国学力学習状況調査で得た子ども達（6年生）のアンケートからは、「朝起きたり、夜寝たりする時間がほぼ決まっていて、生活のリズムが安定している」ことや約75%の子が「家で自分で計画を立てて勉強をしている」。また、「平日は約25%の子・休日は約20%の子が2時間以上勉強をしている」。という結果が出ています。さすが6年生。とても頑張っているのだと感じます。

どのような家庭学習をしていくとよいのでしょうか？「家庭学習＝宿題？」なのでしょうか。学習は何度も繰り返すことで定着（自分で使える姿）していきます。「何を繰り返し行うか？」が大切だと考えています。練習問題やドリルに挑戦することで定着する内容もあるでしょう。教科書を見ながら、どんなことを感じたり、どんな仕組みになっているか？などを、学んだことを自分で文章でまとめたり、話して説明したりすることで定着する内容もあります。または、さらに知りたいことをネットなどで調べて興味関心を広げる学習もあるでしょう。お子さんは、家庭でどのような学習をしていますか？